



2024年1月18日

各 位

会 社 名 株式会社LAホールディングス
代表者名 代表取締役社長 脇田 栄一
(東証グロース・福証 コード 2986)
問合せ先 取締役 栗原 一成
電話番号 (03) 5405-7350 (代表)
(URL <http://www.lahd.co.jp/>)

中期経営計画の上方修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2023年2月14日に公表した「中期経営計画」(2023年12月期～2025年12月期)について、最近の経済環境、業績動向等を踏まえ、「中期経営計画」の最終年度に当たる2025年12月期の公表計画値の売上高、段階利益の各計画数値を下記の通り上方修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 中期経営計画(2023年12月期～2025年12月期)の計画数値

(単位：百万円)

	2023年12月期 公表計画数値	2024年12月期 公表計画数値	2025年12月期 公表計画数値	2025年12月期 今次修正計画数値
売上高	30,000	33,000	40,000	51,000
営業利益	5,500	5,700	6,400	8,200
経常利益	4,800	5,000	5,700	7,400
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,400	3,500	4,000	5,100
1株当たり当期純利益	544.3円	560.3円	640.3円	816.4円

(注1) 上記の計画数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により上記計画数値予想と異なる場合があります。

(注2) 1株当たりの当期純利益は、2023年12月末日時点の発行済株式数6,246,775株により算出しております。

2. 修正の理由

当社グループは、2023年2月14日に公表した「中期経営計画」(2023年12月期～2025年12月期)について、信用力向上に伴う金融機関からの資金調達枠の拡大を背景に大型案件の仕入れが順調に進捗しており、さらに商品の高付加価値化を追求することにより毎期増収・増益、最高益更新を達成する計画であります。

一方、ロシア・ウクライナ戦争をはじめ世界各地で繰り広げられている戦争による物資供給の遅れや世界的な経済情勢に起因する物価高に伴う建設資材の高騰、また建設業界に従事する建設職人の慢性的な人手不足が発生しておりますが、加えて2024年度から予定されている建設業に対する時間外労働の上限規制や週休2日制への移行により建設工期が長期化し、建物の竣工時期の遅れなどの発生が予想されます。

こうした環境下において、各期の計画値の算定につきましては保守的に捉えておりますが、「中期経営計画」の最終年度に当たる2025年12月期は、新築不動産販売部門において大型開発案件の完成・販売を予定しており、また再生不動産販売事業においても売上高100億円超が見込まれ、さらに、ヘルスケア施設投資に注力す

る不動産賃貸事業及び子会社ファンスタイルの沖縄エリアでの事業の更なる拡大、その他M&Aの積極的推進等により、当社グループの売上高は500億円を超え利益共に大きく伸長する見込みであり、当該年度の売上高、段階利益の各計画数値を上方修正するものであります。

なお、2025年度は当社グループ創業35周年に当たる節目の年度であり、役職員一同、さらなる事業発展・企業価値の向上に邁進する所存であります。

3. 株主還元(配当方針)について

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つと考えており、企業体質の強化と将来の事業展開、業績見通し等を総合的に勘案し、親会社株主に帰属する当期純利益をベースとした配当性向「30%以上目標」とする利益還元を目指すことを基本方針としており、每期連続増配を目指しております。

以 上